

■設備仕様一覧表

(木造戸建て住宅・鉄骨造)

【建築事務所・建築士名】

【建築士番号】

		物件名:		5地域	誘導基準			
1)~4) 断熱部位		断熱工法		仕様 (製品名又は断熱材の種類)		熱伝導率 断熱材厚さ		
1) 屋根		充填断熱(軸組)		アクアフォームライト		0.036 210		
天井		充填断熱(軸組)		アクリアネクスト		0.038 170		
2) 壁		充填断熱(軸組)		アクアフォーム		0.033 85		
3) 床	その他の部分	充填断熱(軸組)		フェノバボード		0.02 45		
	外気に接する部分	充填断熱(軸組)		押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA		0.028 100		
4) 基礎壁	その他の部分	内断熱		スタイロエースⅡ		0.028 20		
	外気に接する部分	内断熱		スタイロエースⅡ		0.028 50		
5) 開口部			仕様 (製品名又は建具/枠とガラスの種類)			熱貫流率U 日射取得率η		
性能基準	ドア	玄関ドア				基準値 U≤ 2.3		
		勝手口ドア				U≤ 2.3		
	窓	熱貫流率: U				U≤ 2.3		
		日射取得率: η				η≤ 0.59		
仕様基準	玄関ドア		熱貫流率: U	LIXIL ジエスタⅡ		2.19 U≤ 2.3		
	窓	有効なひさし・軒等がある		熱貫流率: U	LIXIL サーモスⅡ	2.33 U≤ 2.3		
		有効なひさし・軒等がない		日射取得率: η	LIXIL LOW-E2層複層ガラス(日射遮蔽型)	0.32 η≤ 0.59		
		住宅仕様基準の緩和措置		熱貫流率: U	■ 床面積2%緩和 場所: 勝手口ドア	■ 付属部材を設けるもの		
			日射取得率: η	■ 床面積4%緩和 場所: 便所		■ ガラスの日射熱取得率が0.73以下であるもの ■ ひさし、軒等を設けるもの		
6) 構造熱橋部 ※なければ記入不要			断熱補強の範囲 mm		断熱補強の熱抵抗値 (m²·K)/W			
設備機器 種類				仕様(製品名等)		効率等		
暖房	主たる居室	ルームエアコン		施主支給(入居後に設置)				
	その他の居室	ルームエアコン 区分(い)						
	住戸全体							
冷房	主たる居室	ルームエアコン 区分(い)又は(ろ)		施主支給(入居後に設置)				
	その他の居室	ルームエアコン 区分(い)						
	住戸全体							
換気設備		ダクト式第一種		Panasonic FY-T12VBD2A		有効換気量率: 0.95		
熱交換設備		設置する				温度交換効率: 83%		
給湯設備	設備の有無	給湯設備あり	ふろ機能の種類	—	配管	ヘッダー方式(分岐後の全ての配管径が13A以下)		
	熱源機	エコキュート		コロナ: CHP-37AY5		JIS効率: 3.3		
水栓	台所		□ 水優先吐水(C1)	○				
			□ 手元止水(A1)	○				
	浴室シャワー		■ 小流量吐水(B1)	TOTO サザナ		自己適合宣言書による		
			■ 手元止水(A1)	TOTO サザナ				
洗面		—	□ 水優先吐水(C1)					
高断熱浴槽		使用する		TOTO サザナ		JIS A 5532		
太陽光発電		—	□					
コーポレーション		—						
照明設備	主たる居室	すべてLED		□ 調光可能な制御	□ 多灯分散方式			
	その他の居室	すべてLED		□ 調光可能な制御				
	非居室	すべてLED		□ 人感センサー				

【共通設備仕様書】

※完了検査時に設置されている設備について入力して下さい。

一財)滋賀県建築住宅センター

■木造戸建住宅の仕様基準（自己チェック表）※外皮性能基準、設置する設備が仕様基準に適合するか確認して下さい。

■【外皮性能基準】断熱材の熱抵抗R・開口部(窓、ドア)の熱貫流率U・日射遮蔽対策

◆断熱材の熱抵抗R

※1つの部位に複数の仕様がある場合は、全ての仕様について確認し、性能が低い仕様（熱抵抗Rが小さい方）を記入してください。

◆開口部（窓、ドア）の熱貫流率Uと日射遮蔽対策

※熱貫流率については、窓は建具とガラスの組合せ、ドアは枠と戸の組合せに基づく熱貫流率Uを確認してください。

※日射遮蔽対策については、窓の日射熱取得率ηイータを確認してください。

※仕様が複数ある場合は、全ての仕様について確認し、熱貫流率Uについては性能が低い仕様（熱貫流率Uが大きい方）、日射遮蔽対策については窓の日射熱取得率ηイータが大きい仕様を記入してください。

□【省エネ基準】設備機器仕様

断熱等級4※以上かつ一次エネルギー消費量等級4以上 ※結露発生防止対策の基準を除く

◆暖冷房設備

□ 住戸全体を暖冷房

ダクト式セントラル空調機で、ヒートポンプを熱源とするもの

□ 居室のみを暖冷房

※暖房と冷房の両方について、以下のいずれかの設備機器であることを確認してください。

※一部の居室に暖冷房設備機器を設置しない場合は、暖冷房設備機器を設置する居室だけで確認してください。

【暖房】 □ パネルラジエーターで、①～③のいずれかを熱源としつつ配管に断熱被覆があるもの

① 石油潜熱回収型温水暖房機【エコフィール】の熱効率87.8%以上

② ガス潜熱回収型温水暖房機【エコジョーズ】の熱効率82.5%以上

③ 電気ヒートポンプ温水暖房機（フロン系冷媒に限る）

□ ルームエアコンディショナーで、エネルギー消費効率の区分が（い）又は（ろ）のもの

□ FF暖房機の熱効率86.0%以上のもの（4地域に限る）

【冷房】 □ ルームエアコンディショナーで、エネルギー消費効率の区分が（い）又は（ろ）のもの

□ 設置しない

※すべての居室に暖冷房設備機器を設置しない場合は、「設置しない」を選択してください。

※居後に設置する場合やまだ機器が決まっていない場合は、「設置しない」を選択してください。

◆換気設備

□ 非消費電力（熱交換機ありの場合は非消費電力を有効換気量で除した値）が0.3W以下の換気設備

□ ダクト式第一種換気設備（熱交換なし）：ダクト内径が75mm以上で、かつDCモーター（直流）のもの

□ ダクト式第二種又は第三種換気設備：ダクト内径が75mm以上のもの

□ 壁付け式第二種又は第三種換気設備

◆給湯設備

□ 石油潜熱回収型給湯機【エコフィール】：モード熱効率77.8%以上のもの

□ ガス潜熱回収型給湯機【エコジョーズ】：モード熱効率78.2%以上のもの

□ 電気ヒートポンプ給湯機【エコキュート】

◆照明設備

□ 非居室の全ての照明に、LED又は蛍光灯を設置している。

■【誘導基準】設備機器仕様

断熱等級5※以上かつ一次エネルギー消費量等級6以上 ※結露発生防止対策の基準を除く

◆暖冷房設備

□ 住戸全体を暖冷房

【ダクトセントラル空調機】：以下の全ての仕様に該当すること

□ ヒートポンプ式熱源

□ 可変風量制御方式（VAV方式）であるもの

□ 断熱区画内に全てのダクトを設置するもの

□ 热交換換気設備を採用

■ 居室のみを暖冷房

※暖房と冷房の両方について、以下のいずれかの設備機器であることを確認してください。

※「主たる居室」と「その他の居室」でそれぞれ確認する必要があります。

【暖房】 ■ パネルラジエーターで、以下のいずれかを熱源としつつ配管に断熱被覆があるもの

□ 石油潜熱回収型温水暖房機【エコフィール】

□ ガス潜熱回収型温水暖房機【エコジョーズ】

□ 電気ヒートポンプ温水暖房機（フロン系冷媒に限る）

■ ルームエアコンディショナーで、エネルギー消費効率の区分が（い）のもの

【冷房】 ■ ルームエアコンディショナーで、エネルギー消費効率の区分が（い）のもの

◆換気設備

■ 热交換型換気設備を採用しない

□ 非消費電力が0.3W以下の換気設備

■ ダクト式第一種換気設備：ダクト内径が75mm以上で、かつDCモーター（直流）のもの

□ ダクト式第二種又は第三種換気設備：ダクト内径が75mm以上のもの

□ 壁付け式第二種又は第三種換気設備

■ 热交換型換気設備を採用する：以下の全ての仕様に該当すること

■ ダクト式第一種換気設備：ダクト内径が75mm以上、有効換気量率が0.8以上、かつDCモーター（直流）のもの

□ 温度交換効率が70%以上のもの

◆給湯設備

□ 石油潜熱回収型給湯機【エコフィール】：モード熱効率84.9%以上で、※1、※2の省エネ対策をしているもの

□ ガス潜熱回収型給湯機【エコジョーズ】：モード熱効率86.6%以上で、※1、※2、※3の省エネ対策をしているもの

■ 電気ヒートポンプ給湯機【エコキュート】：JIS効率3.3以上で、※1、※2、※3の省エネ対策をしているもの

※1ヘッダー分岐後の全ての配管径が13A以下

※2浴室シャワー水栓に手元止水機構及び小流量吐水機構を有すること

※3高断熱浴槽の省エネ対策をしているもの

◆照明設備

■ 全ての照明設備がLED又はこれと同等以下の性能を有すること